



平成29年3月期第3四半期

決算説明資料

本資料は、当社の平成29年3月期第3四半期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 上原悦人
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階
設立	昭和33年(1958年)1月21日
資本金	12,223,312,500円
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社
従業員数	〔グループ全体〕5,457名 (当社単体) 5名 (連結子会社) 4,837名 (持分法適用関連会社) 615名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	38,578,197,000円

平成28年12月末時点

昭和33年 1月	当社(協立証券(株))設立
平成11年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (平成28年11月より代表取締役会長に就任)
平成11年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
平成13年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
平成16年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
平成18年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
平成19年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成28年12月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	40.00%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.14% ※3
ベンチャーキャピタル	▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	37.59%
少額短期保険	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	19.50% ※1
【再生ビジネス】		
IT (デジタルコンテンツ事業)	● iXIT株式会社 ※2	100.00%

- 当連結会計年度より、(株)インデックス(現 iXIT(株))を連結子会社とした。
- (※1) 平成28年4月、エイチ・エスライフ少額短期保険(株)が第三者割当増資を実施したことにより、当社が保有する同社の議決権比率は21.38%から19.50%となる。
- 平成28年5月、当社が保有する(株)アスコットの株式の一部を売却したことにより、同社は当社の連結子会社から除外。
- (※2) 平成28年7月、(株)インデックスからiXIT(株)に社名変更。
- (※3) 平成28年8月、同社の既存株主から株式を取得したことにより、当社が保有する同社の議決権比率は39.64%から40.14%となる。
- 平成28年12月、当社が保有するエイチ・エス損害保険(株)の株式の一部を売却したことにより、同社は当社の持分法適用関連会社から除外。

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	平成15年 国際競争入札により株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	平成24年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	平成18年 設立（平成19年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	平成18年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	平成17年 株式を取得
▲ エイチ・エス・アシスト株式会社	平成18年 株式を取得
▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	平成22年 設立（平成23年 営業開始）
● iXIT株式会社	平成27年 株式を取得

連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成28年3月期 第3四半期 (平成27年4月～12月)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年4月～12月)	前年同期比
営業収益	42,720	34,742	81.3%
純営業収益	22,019	15,917	72.3%
営業利益	8,259	4,027	48.8%
経常利益	8,382	4,665	55.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5,608	4,113	73.3%

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成28年3月期 (平成28年3月末時点)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年12月末時点)	前年同期比
総資産	372,446	334,418	89.8%
純資産	61,876	58,617	94.7%
現預金	61,015	75,327	123.5%

主な増減要因

- 【銀行関連事業】モンゴル最大のリテール銀行であるハン銀行(Khan Bank LLC)の業績は、モンゴル経済が減速している状況下にもかかわらず、資金運用収益(現地通貨ベース)は増加しているものの、資金調達費用の増加や、為替ヘッジを目的とするスワップ取引において評価損を計上したため、前年同期比で減益。また、現地通貨安(円高)も当社の連結決算(円建て)にマイナスの影響。

営業収益 295億54百万円 (前年同期比 29億13百万円減)

営業利益 36億58百万円 (前年同期比 31億92百万円減)

- 【証券関連事業】国内株式市場は、東証における売買代金の減少が続く中、エイチ・エス証券(株)は受入手数料等が減少し、前年同期比で減益。

営業収益 24億44百万円 (前年同期比 7億87百万円減)

営業利益 1億14百万円 (前年同期比 4億81百万円減)

- 第1四半期において(株)アスコットの株式を一部売却したため、同社は第1四半期より連結の範囲から除外。これにより、同社の業績は当社の連結決算に反映されなくなった。

(前年同期における不動産関連事業の営業収益は56億68百万円、営業利益は4億76百万円)

- (株)外為どっとコムが増収増益等により、持分法による投資損益は3億76百万円(前年同期比1億47百万円増)となる。

- 5月に(株)アスコットの株式の一部を売却、12月にエイチ・エス損害保険(株)の株式の一部を売却したことにより、関係会社株式売却益15億60百万円を計上(前年同期は関係会社株式売却損73百万円)。一方で、投資有価証券売却益は3億9百万円(前年同期比8億15百万円減)に留まる。

セグメント別業績

平成29年3月期第3四半期 (平成28年4月1日～平成28年12月31日) (単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	29,554	2,444	1,679	1,108	344	34,742
営業費用	25,895	2,330	1,524	1,194	240	30,714
営業利益	3,658	114	154	△ 85	104	4,027
経常利益	3,658	158	117	△ 81	988	4,665

平成28年3月期第3四半期 (平成27年4月1日～平成27年12月31日) (単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	不動産 関連事業	その他事業	連結
営業収益	32,468	3,231	1,392	5,668	436	42,720
営業費用	25,617	2,636	1,229	5,191	228	34,460
営業利益	6,851	595	162	476	208	8,259
経常利益	6,851	637	130	392	662	8,382

※ 上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示。

※ 当連結会計年度より、(株)インデックス(現iXIT(株))を連結子会社としたことに伴い報告セグメントに「IT関連事業」を追加し、(株)アスコットを連結子会社から除外したことに伴い報告セグメントから「不動産関連事業」を削除。

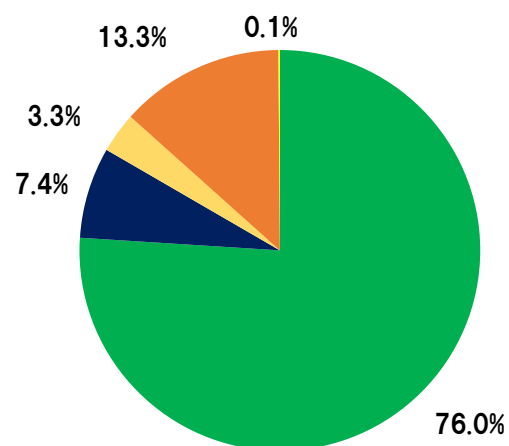
営業収益の構成

事業別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

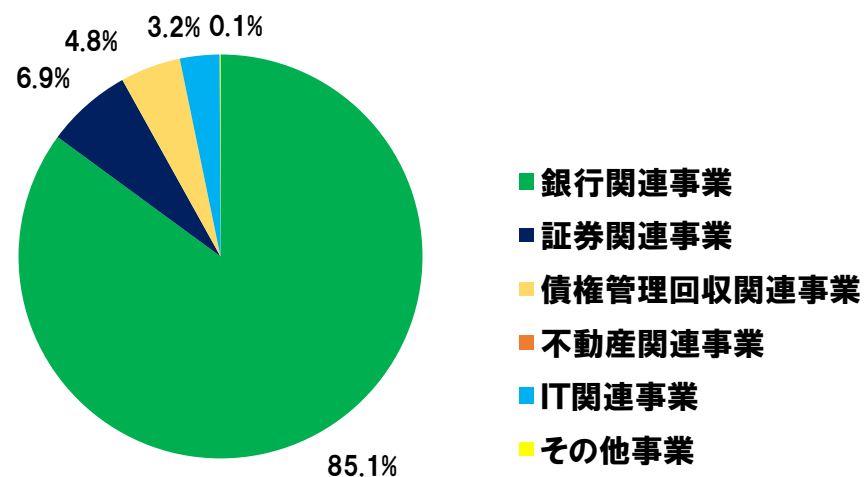
（単位：百万円）

セグメント	期間	平成28年3月期第3四半期 （平成27年4月～12月）	平成29年3月期第3四半期 （平成28年4月～12月）	前年同期比
銀行関連事業		32,468	29,554	91.0%
証券関連事業		3,143	2,381	75.8%
債権管理回収関連事業		1,392	1,679	120.6%
不動産関連事業		5,668	-	-
IT関連事業		-	1,105	-
その他事業		46	20	44.6%
合計		42,720	34,742	81.3%

平成28年3月期第3四半期
42,720百万円



平成29年3月期第3四半期
34,742百万円



澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目	期間	平成28年3月期 第3四半期 (平成27年4月～12月)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年4月～12月)	前年同期比
営業収益		446	555	124.5%
営業利益		242	315	130.1%
経常利益		461	823	178.5%
四半期純利益		2,915	1,769	60.7%
総資産 (前期末 / 当四半期末)		26,412	28,592	108.3%
純資産 (前期末 / 当四半期末)		23,924	25,981	108.6%

主な増減要因

- 5月に(株)アスコット、12月にエイチ・エス損害保険(株)の株式の一部を売却したことにより、関係会社株式売却益11億7500万円を特別利益として計上。なお、前期は九州産業交通ホールディングス(株)の株式の一部売却により関係会社株式売却益25億1400万円を計上しており、前年同期比では減益。
- 関係会社受取配当金が前年同期比で増加したこと等により、営業収益・営業利益は前年同期比で増加。
- 円安ドル高基調に転じたことに伴う為替差益の増加により、経常利益は前年同期比で増加。

ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	所在地	資本金	議決権の所有割合	主要事業	期間			
					科目	平成27年12月期 第3四半期 (平成27年1月~9月)	平成28年12月期 第3四半期 (平成28年1月~9月)	前年同期比
ハーン銀行(Khan Bank LLC)	モンゴル国ウランバートル市	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	54.41%	銀行業	Interest income (資金運用収益)	444,787	479,360	107.8%
					Net interest income (純資金運用収益)	193,159	174,343	90.3%
					Profit for the period (四半期純利益)	99,113	71,297	71.9%
					Total Assets (総資産) (前期末/当四半期末)	5,117,165	6,238,202	121.9%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、融資残高は前年同期比で同水準、預金残高と資金運用収益は前年同期比で増加。しかしながら、資金調達費用の増加や、為替ヘッジ目的のスワップ取引評価損を計上したため、前年同期比で減益。
- 中国経済の減速等の影響を受け、モンゴル経済は減速。世界有数の銅・金の埋蔵量を有するオユ・トルゴイ鉱山の開発の再開や、日本との経済連携協定(EPA)の発効等はあるものの、当面は厳しい経済状況が予想される。
- E-バンキングサービスの推進、紙幣還流式ATMの増設等により支店の混雑は大幅に緩和。更なるサービスの向上に努めるとともに、モンゴル経済を注視しつつ、慎重な姿勢で経営に臨む。

	平成27年9月末	平成28年9月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	2,902,838	3,905,262	134.5%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万MNT)	3,121,252	3,135,455	100.5%

【為替レート】
平成28年9月末
1円 = 22.67MNT
平成28年1月~9月平均
1円 = 18.79MNT

(単位:百万円)

商号		エイチ・エス証券株式会社			
所在地		東京都新宿区			
資本金		3,000百万円			
議決権の所有割合		100.00%			
主要事業		第一種金融商品取引業(証券業)			
科目	期間	平成28年3月期 第3四半期 (平成27年4月~12月)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年4月~12月)	前年同期比	
	営業収益		3,231	2,444	75.6%
営業利益		595	114	19.2%	
経常利益		637	158	24.8%	
四半期純利益		1,226	314	25.6%	
総資産 (前期末/当四半期末)		42,387	41,122	97.0%	

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 平成19年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 国内株式市場の売買代金の減少による委託手数料の減少等により、前年同期比で減収減益。
- 新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力したものの、預り資産は前年同期比で減少。
- 外部環境に左右されない安定的収益の確保、認知度の向上及び同業他社との差別化を目指す。
- 10月よりインターネット取引システムを全面的に刷新し、リッチクライアント型のデイトレーダー向け取引ツール「HSTレーダープレミアムⅡ」をリリース。
- IPO(新規公開)5社、PO(既公開)1社の幹事に参入。

	平成27年12月末	平成28年12月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	360,798	341,273	94.6%

エイチ・エス損害保険(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス損害保険株式会社	科目	期間	平成28年3月期 第3四半期 (平成27年4月~12月)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年4月~12月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	経常収益		2,278	2,354	103.3%
資本金	1,612百万円	経常利益		0	149	-
議決権の 所有割合	14.00%	四半期純利益		△ 3	100	-
主要事業	損害保険業	総資産 (前期末/当四半期末)		3,825	3,811	99.6%

会社プロフィール

- ① 海外旅行保険を主力商品とする損害保険会社
- ② 平成28年4月、海外サポート業務及び事故受付業務を子会社のエイチ・エスサポートセンター(株)を通じて提供開始。

概況

- テロ等の影響により欧州への海外旅行は低迷したものの、他の地域の好調・回復基調もあり、日本人出国者数は前年同期比で増加。海外旅行保険は堅調に推移したことに加え、保険金支払や支払備金の繰入額の減少もあり、前年同期比で増益。
 - 燃油サーチャージの復活や円安基調など、海外旅行にとってはやや厳しい環境となるものの、販促キャンペーン等により海外旅行保険の付保率の向上を目指す。
- ※ 平成28年12月30日付で、当社が保有するエイチ・エス損害保険(株)の株式の一部を売却。これにより、同社は当社の持分法適用関連会社から除外(同社の業績は当第3四半期連結累計期間まで連結)。

	平成27年12月末	平成28年12月末	前年同期比
契約件数(累計) (件)	444,129	437,424	98.5%
収入保険料(累計) (百万円)	3,123	3,148	100.8%

エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	科目 \ 期間	平成28年3月期 第3四半期 (平成27年4月~12月)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年4月~12月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	1,392	1,679	120.6%
資本金	500百万円	営業利益	162	154	95.1%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	130	117	90.3%
主要事業	債権管理回収業	四半期純利益	80	63	79.3%
		総資産 (前期末/当四半期末)	2,833	3,035	107.1%

会社プロフィール

- 平成18年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 前期(平成28年3月期)における買取案件からの回収は担保付債権、無担保・無剰余債権ともに好調に推移。
- 金融機関等の債権者から債権を直接買取る「買取型サービサー」として、積極的にバルクセールへ参加。落札価格の高騰に伴う利益率の低下はあるものの、取引金融機関の増加により債権を確保。更なる債権の確保のため、メガバンク・地方銀行へのアプローチを強化。
- 収益構造の多様化を図るため、事業再生案件への取組み強化を目的とし、中小企業庁より経営革新等支援機関の認定を受ける。

	平成27年12月末	平成28年12月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	980	1,380	140.8%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	256	193	75.2%

(単位:百万円)

商号		株式会社外為どっとコム		科目	期間	平成28年3月期 第3四半期 (平成27年4月～12月)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年4月～12月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	5,104	5,777	113.2%			
資本金	778百万円	営業利益	1,814	2,097	115.6%			
議決権の 所有割合	40.14%	経常利益	1,917	2,155	112.5%			
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益	1,238	1,450	117.2%			
		総資産 (前期末/当四半期末)	130,288	127,314	97.7%			

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 平成26年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- 6月の英国のEU離脱決定や、11月の米国大統領選挙におけるトランプ候補の勝利といった政治イベントによる外国為替市場のボラティリティ(価格の変動率)の拡大に加え、各種実施施策の成果により新規顧客が増加した結果、前年同期比で増収増益。
- 「香港ドル/円」を除く全通貨ペアにおいて、業界最狭水準のスプレッドを提供中。
- 10月より強化した顧客の取引に応じたキャッシュバックキャンペーンにより、業界内での取引シェアは上昇中。

	平成27年12月末	平成28年12月末	前年同期比
口座数 (件)	406,637	435,897	107.2%
預り資産残高 (百万円)	112,765	110,530	98.0%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	平成27年12月期 第3四半期 (平成27年1月~9月)	平成28年12月期 第3四半期 (平成28年1月~9月)	前年同期比
所在地	ロシア連邦 カムチャツカ地方 ペトロパブロフスク・カムチャツキー市	Net interest income (純資金運用収益)		394	204	51.7%
資本金	1,782百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		516	311	60.3%
議決権の 所有割合	40.00%	Profit for the period (四半期純利益)		△ 313	△ 385	-
主要事業	銀行業	Total Assets (総資産) (前期末/当四半期末)		11,424	9,842	86.2%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- ロシアの厳しい経済状況を背景として融資残高及び資金運用収益は前年同期比で減少。保証業務や貴金属取引等の非業務収益の増加を図ったものの、貸倒引当金の積み増しを実施したことにより業績は悪化。
- ロシアの実質GDP(7-9月)は前年同期比0.4%減少。原油価格の緩やかな回復等により、マイナス幅は縮小傾向。しかしながら、欧米諸国による経済制裁は継続しており、依然として厳しい経済環境にある。
- ソリッド銀行は、貸出審査及びリスク管理を大幅に厳格化し、融資残高の増大を抑制。また、非金利収入の増大を図るため、クレジットリスクの低い商品開発、保証業務等や貴金属取引のサービスの拡大に取り組む。

	平成27年9月末	平成28年9月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	9,433	7,394	78.4%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	7,956	5,367	67.5%

【為替レート】
平成28年9月末
1RUB = 1.60円
平成28年1月~9月平均
1RUB = 1.61円

《連結》

(単位:百万円)

商号	ixIT株式会社	科目	期間	平成28年3月期 第3四半期 (平成27年4月～12月)	平成29年3月期 第3四半期 (平成28年4月～12月)	前年同期比
所在地	東京都世田谷区	売上高		-	1,108	-
資本金	300百万円	営業利益		-	△ 93	-
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益		-	△ 88	-
主要事業	デジタルコンテンツ事業	四半期純利益		-	△ 179	-
		総資産 (前期末/当四半期末)		-	738	-

会社プロフィール

- ① デジタルコンテンツ配信やモバイルアプリケーション開発を展開。
- ② 平成27年12月、当社は企業の育成・再生事業として(株)インデックス(現ixIT(株))の株式を取得し、当社グループの一員となる。

概況

- スマートフォン市場は販売台数の増加・高機能化を背景に、サービスの多様化・同業他社との競争激化が進む中、月額課金モデルの事業における会員数及び受託開発案件は減少。さらに、ソフトウェアの減損実施による特別損失の計上の結果、業績は低迷。
- 平成28年4月より経営体制を一新、抜本的な組織改編を実施し、営業の強化及びコスト削減を実行。既存事業の契約・売上増加の他、新規事業・新規顧客の開拓を図る。また、7月より会社名を「ixIT株式会社(読み:イグジット)」に変更。
- 8月よりixITとフジテレビが共同運営のポイントサービス「たまる！」のサービスを開始。また、9月よりハウステンボスにVR(バーチャルリアリティ:仮想現実)を用いた体感型アトラクションを提供。今後も新たなコンテンツ・サービスを積極的に展開。

※ 当社は、当連結会計年度(平成29年3月期)よりixIT株式会社を連結の対象としているため、同社の前期の数値は非表示。

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当第3四半期連結累計期間における当社の連結財務諸表の作成に当たっては、両行における第3四半期決算日(9月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、平成28年1月～9月(又は9月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	平成27年12月期第3四半期		平成28年12月期第3四半期	
		期末レート (平成27年9月末)	平均レート (平成27年1月～9月)	期末レート (平成28年9月末)	平均レート (平成28年1月～9月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円 = 16.63MNT	1円 = 16.22MNT	1円 = 22.67MNT	1円 = 18.79MNT
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB = 1.82円	1RUB = 2.04円	1RUB = 1.60円	1RUB = 1.61円